



News Release/ Communiqué

Office of the
Premier

Cabinet du
Premier ministre

オンタリオ州ダルトン・マッキンティ州首相の演説（草稿）

2006年6月28日

在日カナダ商工会議所

(実際の演説内容と異なる場合があります)

日本についていろいろと読みましたが、実際にここへ来てみて、日本はそれ以上に素晴らしい国だとわかりました。統計数字によると GDP はアジア最高であり、世界第二の経済大国です。しかし、日本の活力あるビジネス文化を真に理解するには、日本へ来なくてはなりません。世界中の人々がビジネスをするために日本へ来ています。日本人は技術の進歩に熱心に取り組み、技術の最先端に行くよう努力しています。日本は技術革新大国であり、あらゆる機会を逃しません。

今日ここで私がお話ししたいのはまさにその点、機会についてです。私達はオンタリオ州民のためにどのようにして機会を作っているか、またオンタリオ州で日本企業がどのようにして機会を見出しているかについてお話ししましょう。そして、共に協力して新しい機会をさがす方法についてお話ししたいと思います。

私が日本に滞在中、強く申し上げたいことの一つは、人々が成功を収めるように、オンタリオ州政府が州内で機会の創出に取り組んでいるということです。それはオンタリオ州にとっても、また、私達の貿易・投資パートナーにとっても、良いことです。なぜなら、オンタリオ州で機会を増やすなら、貿易・投資機会が増えるからです。私達はすでに、カナダの経済的な原動力となる州を築いてきました。オンタリオ州はカナダ全体の GDP の約 40 パーセントを生産しています。我が州の経済は日本経済の十分の一を越える規模になっています。

しかし、さらに発展を続けるためには、将来に向けた投資を継続しなくてはなりません。日本と同様、オンタリオは、教養のある熟練した労働力が 21 世紀の世界で競争力を高める要因であることを理解しています。そこで、私達は州民に多くの投資を行っています。学校では、生徒一人一人に目が行き届くように、クラスの人数を少なくしています。また、少なくとも 18 歳まで生徒が教室で学ぶか、見習または実習訓練を受けることを義務づける新しい法律を導入しています。この新しい法律は、16 歳で学校を退学できる現行の法律に取って代わるものです。また、私達は大学、カレッジ、学生への財政援助および訓練プログラムに 62 億カナダドルを投資しています。もっと多くの人々が高等教育を受けることができるように、また、教育の質を高めるようにしています。

日本と同様、オンタリオ州は世界経済に果敢に関わっており、世界中で投資と貿易を推進しています。その点について次にお話ししたいと思います。オンタリオ州で日

本企業がどのように機会を見出しているかという点です。皆様の多くがご存知のように、オンタリオ州の自動車産業は州最大の製造分野です。日本は強力な事業展開を進めており、さらに強力に推進するよう私達は取組んでいます。

私達は州政権が樹立したとき、自動車投資戦略に着手しました。この主要産業の近代化はオンタリオ州の将来の発展に不可欠だとわかっていたからです。わずか2年後、その戦略を用いて、ほぼ70億カナダドルの新しい投資を行いました。そして2004年に、オンタリオ州は北米自動車生産をリードするようになったのです。トヨタがオンタリオ州で約20年ぶりに未開発地に工場を建設することになり、その鍬入れ式に昨年10月、私は立会いました。新工場は2000人の雇用を創出します。ホンダ・カナダもアリストンで組立て工場の建設に着手します。合計すると、何百もの日本企業がオンタリオ州で機会をさがしており、我が州民の成功を支援しています。数千人ものオンタリオ州民が日本の投資のお陰で仕事を見つけました。それはオンタリオ州と州民に対する強い信頼の表れです。

オンタリオ州は州民の技能に投資しており、技術革新を進めています。また、全州民に行き渡る医療制度は、地域の競争相手より我が州を有利に立たせています。また、私達は先端技術製造分野のリーダーとしての地位を固めました。最近、私達はメーカーの先端技術開発を支援するために、5億カナダドルに上る「先端技術製造投資戦略」を導入しました。最長5年間、無利子で貸付を行うものです。前向きな思考と進取の気概に富む人々と連携を図るために、このような戦略的投資を活用したいと思っています。

とすることで、第三の話題に進みます。共に力を合わせて機会を作る方法についてです。オンタリオ州と日本は既に素晴らしい貿易・投資関係を築いています。オンタリオ州と日本の双方向の貿易は、2004年の83億カナダドルから、2005年に総額96億カナダドルに達しました。昨年、オンタリオ州の対日輸出は12パーセント以上も増大し、カナダ全体の対日輸出にオンタリオ州が占める割合は、過去10年間6パーセントから12パーセントへ増加しました。

しかし、発展の余地はまだあります。今日、ブラジル、インド、中国などの新興経済国がかなり注目されているとは言え、日本は重要なパートナーです。日本は巨大な市場であり、勤勉な労働力、整備されたインフラ、ビジネスに関する多くの専門

知識と技術があります。そのようなわけで、私達は在日カナダ大使館の中にオンタリオ州の新しい国際事務所を正式に開設することになりました。私達はこのきわめて重要な日本市場と金融センターに足場を築きたいと思っております。力を合わせて機会を作ること成功するか否かは、人々にかかっています。その点において私達はこれから切り開く可能性を多いに持っています。

日本企業は世界中で投資をしています。オンタリオ州を選んでいただいたことを私は誇りに思っております。オンタリオ州は勤労意欲が高く有能な労働力と素晴らしい地域社会に恵まれています。日本での会合でお伝えするメッセージの一つは、日本のパートナーが私達にとって非常に大きな意味を持っていることをオンタリオ州は認識しているということです。日本企業は我が州の生活の全体的な質の向上のために大きく貢献しています。こうした投資は、大都市に若者を奪われている小さな町を活性化するのに役立っています。日本企業は単に工場を建てる場所を選ぶだけでなく、地域社会を選び、生活の質を向上させています。

また、オンタリオ州で日本人は州を強める多様性に寄与しています。オンタリオ州には約3万人の日系人が住んでいます。今日、オンタリオ州には日系団体の経営する語学学校が多数あるそうです。それはつまり、オンタリオ州在住の多くの日本人家族が温かく受け入れられ、オンタリオ州を第二の故郷のように感じているということです。オンタリオ州は多様性を享受しています。ですから、オンタリオ州は世界中から来る人々にとって理想的な場所です。我が州民はあらゆる言語を話し、あらゆる文化を受け入れ、あらゆる市場を理解しています。

日本との文化およびビジネスの絆は私達のパートナーシップを強めてきました。しかし、やるべき仕事はまだたくさんあります。今後も、機会を作らなくてはなりません。双方の人々が成功を収めるように共に協力して機会を作らなくてはなりません。強い決意を示す必要があります。長期的なパートナーシップの構築を目指しているからです。現地で足場を築く必要があります。日本の国際マーケティング事務所は、オンタリオ州がビジネスに門戸を開いているというメッセージを伝えます。共に協力する必要があります。皆様のような方々が日本とオンタリオ州の間にビジネス関係を築くために毎日働いています。州政府が支援する方法を見出せるよう、皆様のアイデアや目標をうかがいたいと思います。

本日は、日本で働いているオンタリオ州出身の方々に特別なお願いがあります。州政府はオンタリオ州の経済的利点を強化する取組みを続けます。日本、そして世界中にいる友人達に、オンタリオ州が住む場所としても、また仕事や投資をする場所としても好適地であることを伝えていただきたいと思います。皆様は、オンタリオ州と日本の人々にとって真の利益を作り出すために必要なパートナーシップを作ることができます。

皆様と共に力を合わせ、それらをすべて成し遂げることができると私は確信しております。私達は共に力を合わせるなら、世界経済の中で競争に勝ち抜くことができ、その結果、日本とオンタリオ州の人々が夢を実現し、成功を収めることができます。

ご清聴ありがとうございました。